

あわじ環境未来島特区 [指定：平成23年12月、認定：平成24年2月]

### I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.9 + 4.3) / 2 = 4.6$

4.6

#### i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	エネルギー(電力)自給率	103%	5
2	二酸化炭素排出量	117%	5
3	再生可能エネルギー創出量	102%	5
4	竹燃料の消費量	146%	5
5	新規就農者数	104%	5
6	再生利用が可能な荒廃農地面積	116%	5
7	一戸当たり農業生産額	99%	4
8	持続人口(定住人口+交流人口)	—	—

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 6 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 7 = 4.9$

4.9

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

#### ■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

#### ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.3

### II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値  $(4.3 + 3.8 + 4.8) / 3 = 4.3$

4.3

#### i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

#### ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

#### iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.8

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

5.0

- ・目標設定の根拠を明確に示し、ほとんどが目標値を上回っており、取組内容も多岐にわたっていることから、著しく優れている。
- ・エネルギー・環境分野では、極めて高い再生可能エネルギーの普及率と特徴のある取組が達成できている。
- ・エネルギー利用の観点からも、補助金とセットになった家庭エコ診断、EVのモニター事業など特色ある試みが見られる。
- ・H31年度以降に大きく目標が拡大される竹燃料の消費量に対して、放置竹林の伐採を行う体制の充実化を今後、着実に図っていくことが期待される。
- ・「農」と「人」の分野については、施策が効果を発生するのに長期間を有する分野であり、その伸展は着実ではあるもののエネルギー分野ほどのインパクトは無い。今後は、特区分しく「農」や「人」とのコベネフィットの大きな施策を検討して頂きたい。
- ・定住人口を回復させるため、定住人口促進方策の実効性を高める検討に期待したい。交流人口についても代理指標での評価を検討頂きたい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

5.0

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(4.6 + 4.3 + 5.0 \times 2) / 4 = 4.7$

4.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。